

近畿地方整備局 紀伊山地砂防事務所	配布日時	平成25年2月13日 14時00分
資料配布		

件名	河道閉塞等の本格的対策方針をとりまとめ ～第4回河道閉塞等対策検討委員会の開催～
----	---

概要	<p>平成23年台風12号で発生した河道閉塞等の対策工事を実施にあたり、「河道閉塞等対策検討委員会」において、各分野の有識者から助言を得ながら対策工法等の検討を進めます。</p> <p>委員会の内容 河道閉塞箇所（赤谷、長殿、栗平、北股、熊野）及び大規模斜面崩壊箇所（宇井、坪内、三越）における本格的対策方針について議論し、とりまとめを行います。</p> <p>日時：平成25年2月14日（木） 13：00～16：30 場所：奈良県社会福祉総合センター 5階 研修室C (奈良県橿原市大久保町320番11)</p> <p>取材についてのお願い ・委員会は非公開で行います。 ・なお、委員会の冒頭のカメラ撮りは可能です。 ・委員会終了後16：45より取材対応を行います。</p>
取扱い	

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ 和歌山県政記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ 和歌山県地方新聞協会 奈良県政・経済記者クラブ、五條市政記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山地砂防事務所 副所長 大下 正和 工務課長 大山 誠 TEL 0747-25-3111 FAX 0747-25-3276
------	--

河道閉塞等の本格的対策方針をとりまとめ ～第4回河道閉塞等対策検討委員会の開催～

1. 目的

平成23年9月の台風12号において、紀伊半島では多数土砂災害が発生しました。その中でも大規模な河道閉塞（天然ダム）や崩壊箇所については、全国的にも対策の実施事例が少なく、かつ対策の検討にあたっては、砂防工学のみならず、地質・地形学、河川工学等の幅広い知見が求められることから、各分野の有識者の助言を得ながら対策工法の検討を進めるため、河道閉塞等対策検討委員会を設置しました。

今回、河道閉塞箇所及び大規模斜面崩壊箇所（別図1）における本格的対策方針について議論し、とりまとめを行います。

2. 開催日程

- ・第4回：平成25年2月14日（木）13時00分～16時30分
奈良県社会福祉総合センター 5階研修室C
(奈良県橿原市大久保町320番11)

今回の第4回で、委員会は終了する予定です。

3. 委員メンバー

委員長	水山 高久	京都大学大学院 農学研究科 教授	山地保全学	出席
委員	千木良雅弘	京都大学防災研究所 地盤災害研究部門 教授	斜面崩壊・地質	出席
委員	藤田 正治	京都大学防災研究所 流域研究センター 教授	土石流	出席
委員	松村 和樹	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授	砂防構造物	出席
委員	後藤 宏二	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター長	砂防	出席
委員	服部 敦	国土技術政策総合研究所 河川研究部河川研究室長	河川	出席

- ・その他、奈良県、和歌山県、市町村等関係機関からオブザーバー参加予定

4. 留意事項

- ・委員会は非公開で行います。
- ・なお、委員会の冒頭のカメラ撮りは可能です。
- ・委員会終了後16:45より取材対応を行います。

奈良県社会福祉総合センター 地図



議論対象箇所

別図1

赤谷



坪内



北股
長殿



清水(宇井)



栗平



熊野



三越



- 河道閉塞
- 大規模斜面崩壊

